

令和3年度一般会計補正予算などを可決 議員定数を現行18人から16人へ

12月定例市議会が11月26日に招集され、12月17日までの22日間の会期で開かれました。上程された議案は、監査委員の選任や令和3年度各会計補正予算など16件と報告1件で、すべて原案のとおり可決・同意されました。また、議員提案により、議員定数を現行18人から16人に減ずる条例改正案が可決されました。

上程された主な議案

◇監査委員の選任

12月6日で任期満了となる須藤金悦氏（大須郷）を、引き続き監査委員として選任することについて同意されました。



須藤 金悦 氏

◇令和3年度にかほ市一般会計補正予算（第11号・第12号・第13号）

歳入歳出予算とも10億3、733万6千円を追加し、予算総額は166億6、144万5千円となりました。

【主な歳出】

- ふるさと納税者謝礼 1億8、000万円
- 灯油購入費等助成金 2、450万円
- 新型コロナウイルス対策生活応援商品券作成事業 3億65万3千円
- 漁業新規就業者受入支援助成金 100万円
- 観光拠点センター「池田修三展」実施委託業務 100万円
- アウトドア拠点施設実施設計委託業務 2、530万円
- 子育て世帯への臨時特別給付金 3億940万円

◇にかほ市公の施設における浴室の使用に係る関係条例の整備に関する条例の制定

市内の民間入浴施設および近隣市町村の入浴料金との均衡を図るため、午ノ浜温泉、はんの木、象潟都市農村交流センター、鶴泉荘、象潟ねむの丘、はまなすの入浴料金を改定する条例を制定しました。

主な議員提出議案

◇市議会の議員の定数を定める条例の一部改正

議員定数を現行の18人から16人にするため条例を改正し、次の市議会議員一般選挙から施行されます。

主な市政報告

◇新型コロナウイルスワクチン接種

5月から開始した新型コロナウイルスワクチンの集団接種は、10月22日をもって一旦終了しました。11月7日には臨時集団接種を実施し、さらに240人が1回目の接種をしました。11月8日現在、2回目の接種を終えた人の割合は全市民の83・75%となっています。

◇市内の雇用状況

ハローワーク本荘管内の有効求人倍率は5カ月連続で上昇していて、9月末現在で1・41倍と、前年同月比で0・42ポイントの大幅な上昇となっています。しかし、一部の業種では現在もコロナ禍の影響により、雇用維持に苦慮する状況が見受けられます。

れます。11月末までとされていた国の「雇用調整助成金等」の特例措置が令和4年3月まで延長されたことから、これらを活用して雇用の維持、立て直しが図られることを期待しています。

◇若者支援住宅整備事業

令和5年4月の供用開始を目指している若者支援住宅の整備については、転出者数の抑止効果をより高めるために事業進行スケジュールを見直します。

◇ふるさと納税

今年度のふるさと納税は、10月末時点で件数が19、169件、寄付額は前年度比64%増の2億9、481万1、200円となっています。引き続き前年度を上回る伸びを維持しています。これまでも報告しているように、返礼品のバリエーションの充実やポータルサイトで上位表

主な教育行政報告

◇小中学校抗菌・抗ウイルスガラスコーティングの実施

8月末、由利本荘保健所管内において感染者が多数確認された感染拡大防止対策のさらなる徹底のために、小中学校に抗菌・抗ウイルスガラスコーティングを緊急的に実施しました。10月9日から施工を開始し、11月5日には7校すべて完了しています。一般社団法人抗菌製品技術協議会（SIAA）が認証した抗菌・抗ウイルス効果の高い高純度のガラスコーティング剤をドアの取っ手、階段の手すり、照明のスイッチ、蛇口、トイレの便座・レバー等に塗布し、細菌やウイルスの増殖抑制および接触感染の予防を行いました。効果は長期間（5年間）持続します。

また、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザウイルス、ノロウイルスにも効果を発揮しますので、教職員の負担軽減を図りながら、これからも安全・安心な教育環境の整備に努めていきます。

示されるようなコンテンツの最適化などの取り組みが、着実な成果として実績に反映されているものと分析しています。

◇ワーケーション推進事業

ワーケーションを通じて多様な企業や人材を呼び込み、サテライトオフィスの立地など企業誘致に繋げようとする事業です。今年度は、ワーケーションの理解を深めるための地元向けセミナーを9月に3回開催したほか、事業の要であるワーケーションプログラム構築に向けたワークショップを10月から11月にかけて3回開催し、多くの方々に参加いただきました。ワーケーションの誘致を巡っては、自治体間の競争が激しくなっていますが、本市の豊富な地域資源を活用し多様な企業と人材を呼び込みたいと考えています。

◇子育て世帯の移住促進

首都圏等に住むひとり親世帯を対象に、本市の子育て環境等を直接体験できるツアーを企画し募集したところ、29世帯から参加申し込みがありました。1回目の10月23日、24日、2回目の11月6日、7日に応募者の中から選考された計8世帯の親子

が参加し、本市の生活、仕事、住まいの状況に触れ、学校、子育て支援施設等を訪れるとともに、余暇に親子で遊べるミュージアムや公園なども体験していただきました。今後も感染症対策を講じながら、お試し移住体験ツアーを実施し移住促進に繋げていきます。

また、子育て移住世帯向けの賃貸住宅1棟を新たに整備するため、市内の空き家を公募したところ8件の申し込みがあり、その中から建物の状態や立地環境等を考慮し、平沢地内の空き家1件を選定しています。

整備にあたっては、市内建築事業者のアイデアを活かしたりノベーションを行うため、公募型プロポーザル方式で選定した事業者に設計と施工を一括業務として委託することとしていて、令和4年3月末の完成を目指しています。

◇漁業体験事業

今年度、観光庁の事業を活用し、「現役漁業者が引率する底引き網漁」と「獲れた魚を夕食として提供する宿泊」を組み合わせた体験型旅行商品の造成を目指す実証事業を実施しています。コロナ禍と天候の影響により、10月16日、30日の2日間のお断りしています。

◇中山スキー場の開設

今季も12月25日から2月27日までの間、中山スキー場を開設します。当スキー場の利用者は年々減少していて、年末年始、土・日曜日および祝日のみの営業としていますが、市内の保育園、認定こども園や小学校の行事については適宜対応し、園児や児童に雪遊びを楽しんでいただいています。

しかし、ゲレンデ整備用の圧雪車が経年劣化により故障が頻発していて、部品もすでに製造されておらず例年対応に苦慮しているため、修理等ができない場合には期間中でもスキー場を休まなければなりません。できるだけ利用者には不便をかけないよう施設運営にあたりますが、費用をかけても改善できない状況になりつつあることに理解をお願いします。